

事業番号	09 02 03	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業労働力対策事業				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	信州の木活用課		
	施策の総合的展開	1 - 4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp		
		1 林業再生の実現			実施期間	H2 ~		

1 事業の概要

目指す姿	○林業就業者の確保 ○社会保険制度の加入促進、安全管理、技術向上等雇用管理の改善を確実にを行う林業事業者の育成による林業就業者の雇用の安定確保 目標:平成32年度 林業就労者数3,000人 平成32年度 フォレストワーカー(林業の現場作業員として必要な技能を習得した林内作業技能士)登録(必要な技能を修得した者を国が登録)数 400人		
現状(予算編成時)	○平成25年度林業就労者数 2,288人(平成25年3月31日現在) ○平成25年度フォレストワーカー登録者数 326人		

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施: 検討中	【左記の説明、根拠法令等】 林業労働力の確保に関する法律(平成8年5月24日付 法律第45号) 第4期長野県林業労働力確保促進基本計画(平成23年11月改正)
----------	-------------------------------------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	○経営基盤強化並びに雇用管理の改善計画の認定事業者数(新規)3事業者、(更新)7事業者 ○林業就労者数 2,733人(アクションプランH27目標との差を年数で均等割) ○フォレストワーカー登録数 396人(H26登録者70人)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績	H26(当初)	H26(決算)
	林業事業者経営改善計画認定	直接	認定委員会の開催(計画認定9件)	28	28	28
	林業労働力確保支援センター事業	補助金交付	新規就業者の相談支援、雇用希望等の情報収集、機械化アドバイザーの活動支援、支援センター人件費補助	7,547	7,547	7,590
			合計	7,575	7,575	7,618

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	7,776	7,776	7,575	7,618
	補正予算				
	合計(A)	7,776	7,776	7,575	7,618
	一般財源	7,776	7,522	7,321	7,342
	県債				
	国庫支出金		254	254	276
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	7,776	7,776	7,575	
概算職員数(人)	0.58	0.37	0.37	0.37	
概算人件費	4,790	3,055	3,055	3,055	
概算事業費(B(A)+C)	12,566	10,831	10,630	10,673	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
林業就業者数	2,022	2,733	集計中(10月)	集計中(10月)	2,767
フォレストワーカー登録者(累計)	326	826	374	未達成	1,026

目標に対する成果の状況	平成26年度の林業就業者は未確定。 なお、林業就業者数は近年減少傾向にあるが、平均年齢は平成15年度の50.8才から平成25年度の47.6才と若返りが進み、平均就労日数は同145日から178日に増加し、高性能林業機械導入による作業効率化も進んでいることから、県全体の素材生産量は増加している。 また、森林・林業人材育成加速化事業によりフォレストワーカーの登録に必要な講習等を受講した人材を平成26年度に643人育成したものの、これらの者のフォレストワーカーへの登録が当初の想定より進まず、目標未達成となった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 新規就業者への相談支援については、従来は県及び林業労働力確保支援センターの職員が対応していたが、現場の生の声やアドバイスが得られるよう林業現場で働く先輩等が相談支援にあたるほか、雇用希望等の情報収集、機械化アドバイザーの活動支援にあたっては、専門家や高い技能を持つ技術者を派遣するよう事業内容を見直す。 また、森林・林業人材育成加速化事業で育成した人材がフォレストワーカーに登録していただけるよう働きかけを行う。
-------------------	--